

令和5年1月27日

9時半～12時

浦堂認定こども園

開会の挨拶後、所属とお名前を紹介し、公開保育見学のためホールに移動。  
ホールにて、アートの子どもの様子を見てもらい、職員の関りも見学いただく。  
見学後、年長児クラスの戻り、サークル型に配置した椅子に座り感想を聞く。

#### 園長より

昨日、みんなで今年度の振り返り、来年度の大切にしたいこと、来年度のテーマをみんなで話しあった。  
1～2年目・・・1年間目まぐるしかった。  
中堅・・・新しくチーフになったり、新しく幼児に上がったりいっぱいいっぱい。  
ベテラン・・・後輩の話をしっかり聞いていたかな。  
色々な機会に、みんなでわかるをして話している。みんなで輪になって人の気持ちをわかることを大切。年代別で話し合いをすることで話しやすい環境を作って生きたが、昨日現場から「異年齢と交わってわかるをしたい。」という意見が出てきた。話しやすい空気感や場づくりができてきたのかと感じた時間でした。  
昨年の施設関係者評価委員会は『大地の再生』、今年度は『アートの会』。どちらも保育の中で大切にしている柱の2つを見ていただいた。

#### アートの会で大切にしている事

どんな大人になって欲しいか。考える大人になって欲しいと思い返答しています。  
自分で考える事。自分に自信を持つこと。様々な環境を用意している。  
作品を作ろうとは思っていない。遊んでいる過程を大切に五感を育てている。  
アートは、保育の中の一つ。切り離すことができない。  
子どもたちから英気をもらっている。  
子どもたちから学んでいる事もあるので、教えるということはしていない。  
部屋の様子を見て楽しみながら参加する子、参加しないと決める子、自分の意思を大切にしている。  
大人に都合の良い人になって欲しくない。自分の思いを出せる場を作りたい。

#### 皆さんの感想・意見交換

- ・墨をがりがりおろし器でずっと遊んでいる。集めた隅の粉を筆で集めてみて、指で描くことをしていた。
- ・筆も反対をつかって書いてみたら『かけない』と自分で気づき筆で書いていた。
- ・墨は、家で遊べないので園でこのような事を経験できることが良い。

- ・墨で真っ黒になった紙。
- ・浦堂ならではの活動。  
その服ですか？汚れない？と思ったが、経験を重ねているなど感じた。教材も上手く使いこなしているなど感じたり、遊び慣れていると感じた。
- ・子どもの想像力がすごく発揮されていた活動。
- ・ここ数年間コロナの事も関係してか、『指示を待つ』大人や子どもが増えている。主体的に動いてみる事が不足している。
- ・校長からのトップダウンだと、指示を待つようになってしまう。『自分がどうしたいのか』がなかなか発言できない人（大人も子どもも）が増えている。
- ・在園の子どもの『今』だけを考えていないのだろうと思う。『どのような大人になって欲しいか』を考えているのだろう。
- ・10年後、20年後どのような社会になっているのかを考えられる私たち大人でないといけないと考えている。
- ・卒園した後の子どもたちの様子は分からない中で、学校の先生たちに教えて欲しい。  
校長先生・・・自分たちは子どもの時に社会（近所）で学んでいた経験があった。今は社旗の中で味わえないので、意図的に作っていく事が必要。  
百合先生・・・保育の中で『学びに向かう力』をつけていると考えている。そこが勉強に向かう力になっていくと考えている。
- ・小学校の1年生の入学式後に門から入れない、母から離れられない子が多かった。  
⇒何か楽しいことが待っている！と感じてくれたらと思う。  
⇒毎年何人かはいるが、今年は9月くらいまでかかった。
- ・3年生まで学校に行きにくかった子が、中学生になったときに、自分の考えを伝えられる人になっていた。小学校生活や目先の事だけでなく、先の事を見据えた対応があると、子どもが安心できるのでは？
- ・不登校の子が増えている。（高槻市全体で）
- ・様々なケースがある中で、一人ひとりに合わせた関わり対応をしている。
- ・学校としては、どのように『誠実に対応できているか』を大切にしている。  
⇒そのことを重視している
- ・子どもが学校で楽しめることは何なのか？を知って欲しい。
- ・『不登校だからダメな子』ではなく、受け止めてもらっている事を聞いて安心した。
- ・小学校との接続、連携ができる地域になればいいな。
- ・保育園はしっかり見てもらっている。小学校は見てもらっている。中学校は見放されている感じがある。しかし学校の思いを保護者が知らないだけなのではないか？話をする機会が無いのでは？
- ・最終的に生きていける子に育ってくれたらいい。

## 最後に皆さんの話を聞いて、皆さんが感じたこと

- ・たくさんの考えを持っておられる皆様に見守ってもらっているなど感じた会でした。
- ・地域の方が子どもの事を考えていることを自分が地域の事をするようになってきづいた。
- ・学校にクレームをくださる方は、孤独な方の傾向にある。孤独な方を減らしていけるといいなど感じる。
- ・地域支援をする中で大切な仕事だと感じている。福祉委員会の中で話していると、同じ年代が多いが今日の活動で様々な話ができて良かった。
- ・繋がり・・・話すと分かることがあることを再確認した。
- ・介護をする機会があった中で、知らないことがまだまだあること。自分たちがいかに様々な方に支えられているなど感じた。たくさんの人が支え合っていると感じた。
- ・3歳児の子が「手をつなご」と言ってくれたが、手を見てひっこめた。社会には
- ・子どもは宝。みんなで大切に育てていきたいな。見守りたいなと思います。